

3 報告（1）令和7年度無料お試し乗車券（高校生）利用実績について

目 的 登米市市民バスは、主に通院・通学・通勤を目的として運行し、市民生活を支えている。今回、目的の一つである通学支援として、今後市民バスを利用した通学へつなげるきっかけとなるよう、新入学生を対象に、市民バス無料お試し乗車を実施したものの。

対 象 者 登米市内の高等学校及び迫桜高等学校への令和7年4月入学生

実施期間 令和7年4月1日（火）～5月31日（土）

有効区間 登米市市民バス全路線

発行方法 高校毎に色分けしたカラー紙に4回分の乗車券付きのチラシを印刷し、配付。

使用方法 チラシから無料お試し乗車券を切り離し、降車の際に運賃箱に投入

■月別・回数別利用者数

回数	4月	5月	合計
1回目	186	11	197
2回目	175	14	189
3回目	158	12	170
4回目	155	15	170
利用者数	674	52	726
利用者合計に対する割合	92.8%	7.2%	

■高校別利用者数

実施期間 R7.4.1～5.31（2ヶ月間） 利用可能回数：一人4回まで

	佐沼高校	登米高校	登米産業	飛鳥未来	迫桜高校	合計	
令和7年4月新入学生数	230	48	155	50	103	586	
利用可能回数 (新入学生数×4回)	920	192	620	200	412	2,344	
4月利用者	243	97	259	7	68	674	
5月利用者	9	6	14	18	5	52	
令和7年度	延利用者数	252	103	273	25	726	
	利用率	27.4%	53.6%	44.0%	12.5%	31.0%	
前年度比（令和6年度比）		-3.9%	-20.9%	-4.9%	0.5%	7.4%	-2.2%
令和6年度	延利用者数	283	155	325	24	846	
	利用率	31.3%	74.5%	48.9%	12.0%	10.3%	33.2%

※飛鳥未来きずな高校及び迫桜高校の乗車券利用者が全て登米市民であると仮定した場合の、登米市民の生徒に対する利用率（登米市以外の生徒も多数在籍するため、参考値として掲載）

	飛鳥未来	迫桜高校
登米市民生徒数*	12	28
利用者数（1回目）	7	18
利用率	58.3%	64.3%

*登米市民生徒数は、令和6年度中学生進路調査による推計値

■参考1（R6利用実績について）

実施期間 R6.4.1~5.31（2ヶ月間） 利用可能回数：一人4回まで

	佐沼高校	登米高校	登米産業	飛鳥未来	迫桜高校	合計
令和6年4月新入学生数	226	52	166	50	143	637
利用可能回数 (新入学生数×4回)	904	208	664	200	572	2,548
4月利用者	252	140	285	9	54	740
5月利用者	31	15	40	15	5	106
延利用者数	283	155	325	24	59	846
利用率	31.3%	74.5%	48.9%	12.0%	10.3%	33.2%

■参考2（フリーパス販売数及び利用実績について）

フリーパス販売数（4~10月比較）

フリーパス区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4~10月計
令和6年度	1ヶ月券	77	83	85	47	65	61	62	480
	3ヶ月券	63	16	15	26	40	23	29	212
	6ヶ月券	19	1	5	6	5	3	10	49
計		159	100	105	79	110	87	101	741
令和7年度	1ヶ月券	89	91	88	51	79	66	78	542
	3ヶ月券	88	11	7	31	55	17	30	239
	6ヶ月券	30	5	0	4	9	1	18	67
計		207	107	95	86	143	84	126	848
増減数 (R7-R6)		48	7	-10	7	33	-3	25	107
増減率		30.2%	7.0%	-9.5%	8.9%	30.0%	-3.4%	24.8%	14.4%

フリーパス利用者数（4~10月比較）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4~10月計
令和6年度	4,833	7,096	7,235	5,518	3,439	6,120	6,982	41,223
令和7年度	5,758	7,765	7,946	5,882	3,291	7,371	7,711	45,724
増減数 (R7-R6)	925	669	711	364	-148	1,251	729	4,501
増減率	19.1%	9.4%	9.8%	6.6%	-4.3%	20.4%	10.4%	10.9%

■まとめ

- ①全利用数のうち、92.8%が4月中に利用している。
- ②1回目を利用した人の内、86.3%が4回目まで利用している。（170人/197人）
- ③無料乗車券の利用率は令和6年度と比較し2.2%減少しているが、同期間のフリーパス販売数及び利用者数は増加している。